

第2回

授業づくり講座 授業研究会

安芸市立安芸中学校

「3年 多項式」 浦田 泰良 教諭

豪雨で延期となりました「授業研究会」を行いました。

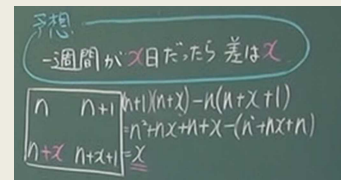
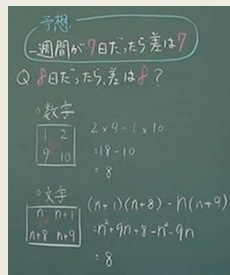
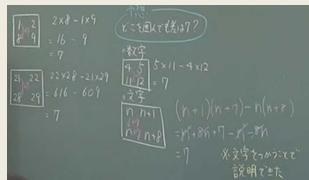
7月6日(金)安芸中学校で予定していましたが「授業づくり講座」兼「東部地区中学校数学授業改善研究協議会」は豪雨のため中止となりましたが、後日、9名が参加し「授業研究会」を行いました。

安芸中学校の浦田先生を始め、中野先生、中平先生は、4月からこの日に向けて準備をしてきており、今回、協議会において発表する機会が取れなかったのは残念でしたが、代替の日に行った授業では、取組の成果を存分に発揮していました。

授業より



口カレンダーの中に隠れている規則性を、多項式を使って解決していく授業でした。  
口授業の導入では、具体的な数で丁寧に数の構成要素に着眼させ、文字への置き換えにつなげていました。  
口また、規則性が1週間の7日に関係していることから、1週間が8日の場合を考え、更に、1週間がx日の時はどうなるのか?と発展させる展開でした。



グループ協議より

- ・カレンダーの具体的な数を4つ囲んだとき、左上を規準にすると、他がどのような数の構成になっているのかを確認することが大切。
- ・具体的な数で考え、その考えを基に予想をし、文字で一般化につなげる数学的活動がよかった。
- ・「まとめ」が、内容の「まとめ」だけでなく、方法知を入れたのがよかった。
- ・生徒への発問は上手であったが、やや教師主導で進める場面が見られた。
- ・4つの数をたすき掛けしたときに、どちらの数が大きいのかを丁寧に確認させることで、数の大小を理解させることができたのではないかと。
- ・文字のよさに触れる機会を取ることも大切である。
- ・問題解決をした後に、生徒が振り返る場面を適宜取り入れており、問題解決のプロセスを生徒がつかむことができていた。

浦田教諭の授業後の振り返り

【取り組む前】

授業をするにあたり、日常の事象であるカレンダーを扱うことで、数量関係が捉えやすく取り組みやすい題材を選んだ。また、2年生でも扱った内容なので系統性を持たせたかった。授業展開では、課題を解決した後に、それを基に新たな発見ができる展開とし、数学的な見方・考え方や主体的に学ぶ力を育てたいと考えていた。

【当日の授業】

課題を解決した後に、それを基に新たな発見ができる展開としたことで、意欲的に取り組んでいたように感じる。また、統合的に考えさせることで、初めはなんとなく理解していた生徒が、最後にはしっかりと理解し、解決することができていた。

【今後の取組】

今後の日々の授業でも、今回のように数学的活動を意識し、課題を解決した後に、それを基に新たな発見ができる展開の授業づくりに取り組み、数学的な見方・考え方や学びに向かう力を養っていききたい。また、数学的な見方・考え方を系統的に見直すとともに整理をし、これからも安芸中学校の学力向上につなげたい。

今後の中学校予定

- 8月1日(水) 野市中(教材研究会)
- 8月16日(木) 鏡野中(教材研究会)
- 8月21日(火) 市立安芸中(教材研究会)
- 9月25日(火) 野市中(授業研究会)
- 9月26日(水) 市立安芸中(授業研究会・東部地区協議会)
- 9月28日(金) 鏡野中(授業研究会)